学力向上担当者通信 第18号

岡山県教育庁義務教育課 令和5年2月6日



~学力定着状況で認テストの結果より~

今号では、2学期後半に実施した学力定着状況確認テストの自校採点結果からみえる県全体の傾向を紹介します。 各学校における取組状況の確認や年度末における学力保障の取組の参考にしてください。

中学校(2年)国語の傾向

<u>→</u>自分の考えを書くことに課題がある。

		正答率(%)					
	問題の概要	県全体 (自校採点)	全国 (公立)	ベンチマーク			
2三	アンケートをとる対象と質問 内容、その質問についての 回答を基にした内容を載せ ることで興味をもってもらえ ると考えた理由を書く	57.7	68.8			-11.1	
4 ≡	事前に確かめておきたい ことについて相手に失礼 のないように書く	65.6	71.9			-6.3	

いた県事業校の結果を集計したもの を示しています。

情報提供いただ



必要な情報を集めるための<u>見通しについて書く</u> ことができるかどうかをみる。

伝えたい事柄が<u>相手に効果的に伝わるように書くことができる</u>かどうかをみる。

中学校(2年)数学の傾向

つの数の和の2倍である

<u>理由や事柄を説明する</u>ことに課題がある。 _{正答率(%)}



皆さんの学 校ではどのよ うな課題が見 られますか?

問題の概要 県全体 全国 ベンチマーク (公立) (自校採点) 四角で4つの数を囲むと き,4つの数の和はいつで 32.6 61.8 -29.2 も4の倍数になることの説 明を完成する 四角で4つの数を囲むと き,四角で囲んだ4つの数 の和がどの位置にある2 22.6 30.3

目的に応じて式を変形したり、その意味を読み

取ったりして、**事柄が成り立つ理由を説明するこ** とができるかどうかをみる。

数学的な結果を事象に即して解釈し、<u>事柄の特</u> <u>徴を数学的に説明することができる</u>かどうかをみる。



8(2)

8(3)

両教科で、根拠等を基に、<u>自分の考えを表現することに課題がある</u>と言えます。他学年や他教科でも、同様の傾向は見られませんか?

県調査では、国語の書くことの設問で、 小・中学校ともに約2割の児童生徒が無解 答でした。無解答率も気になりますね。



年度内につまずきを解消するための取組(中2国語の例)

定着が不十分な場合

授業改善

目的・意図の把握 → 必要な情報を集める

ブラスト等で確認

補充学習

ロリる四ツに姓の女は日本で未のる

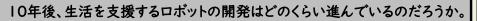
自分の考えをまとめ、表現する場面の設定



授業とつながる課題の設定

社会生活に関わることについて、集めた情報を根拠にして自分の考えや意見を書く学習活動を取り入れてみるか。

授業内容とつなげて、社会生活に 必要な手紙や電子メールを書くな どの課題を設定してみようか。



地元の大学や工業高校の 先生等に手紙や電子メー ルで質問しよう。



高齢者が買い物や病院に行くのに不便を感じている現状が あることが分かったから、自動運転の車が増えるかも。

集めた情報を理由や根拠にした上で、考えをまとめて、グループ内で自分の意見を言ってください。



相手に分かりやすく伝えるために、 説明や具体例を入れて書いてみよう。 また、相手に失礼のないように、書 き表し方を工夫してみよう。

高齢者が増え、買い物や病院に行くのに不便を感じている ため、自動運転の車が街を走っていると思います。

児童生徒が自らの学びをアウトプットする場面を設定することで、今年度中に身に付けさせたい力の 定着状況を把握することができます。例えば、児童生徒にノートや端末等の学習の足跡を用いて、学習 内容や課題を確認させたり、学年末(単元)テストで記述式の問題に取り組ませたりすることなどが考え られます。年度末のこの時期に、学校全体で話し合い、児童生徒のつまずき解消に取り組んでみませんか。

